

LFT 測定評価

測定値		おおよその評価	
プラス	20	+	18～20: ・めったに出ない特別な数値と考えます。 ・きわめて優秀な食品、薬品など。
	19		
	18		
	17	+	14から17: ・人間ならば大変健康。 ・食品ならば大変よいもの、オーガニックフードの優秀なもの。
	16		
	15		
	14	+	・16以上は薬効を超えるほどのものとする。
	13	+	7から13: ・人間ならばいわゆる健康人。 ・個別の不調はあっても速い回復力をもつと考えられず 食品・薬品・機能性食品などでは一般的な(よい)数値 ・オーガニックフードの多くがプラス10～プラス13に入る。
	12		
	11		
	10		
	9		
	8		
	7	+	0から6: ・やや弱い状態。 ・人間ならば不調が常態化している、あるいは現在の生活 を変えずにいると不調が表面化しやすい状態。 ・野菜ならば一般的な農薬使用の物。 ・多くの加工食品がこの枠内にはいる。 ・薬品、機能性食品の場合、ほとんど効果が期待できない。
6			
5			
4			
3			
2			
1			
0			
プラス・マイナス 0		基準値 評価には使用しない	
マイナス	0	-	0から5: ・東洋医学でいう(未病)状態。不調である事は分かっている が原因がはっきりしない、あるいは本人は不調を意識してい ないが生活を変えずにいるとやがて不調が顕在化する状態。 ・野菜ならば農薬使用過多。加工食品の一部。
	1		
	2		
	3		
	4		
	5	-	-6から10: ・人間ならば医療関係者が悪い部位(臓器)をかなり明確に 指摘できる状態。
	10		
11以下	-	-11から20: ・こちらもめったに出ない数値。 ・人間ならばすでに動けない状態に近い。 ・その他の物品の場合は(毒)と考える。	
	15		
	20		

☆ 波動測定の結果及び数値は医学的な診断ではありません。

☆ 波動測定の結果及び数値は品質、味等を保証、または評価する数値ではありません。